

社団法人東京都トラック協会 千代田支部  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目12  
 番3号 神トラビル2階  
 電話 03-3518-8006  
 FAX 03-3259-5123

# CHIYODA LOGI PRESS

2011年5月 第7号  
 発行人  
 八巻 信行

## 未曾有の大災害 東日本大震災発生！

平成23年3月11日14時46分に、太平洋三陸沖を震源とした『東日本大震災』は、マグニチュード(Mw)9.0という日本国内の観測史上最大、世界でも第四位の巨大地震となりました。



この地震により建物の倒壊、地すべり、地面の液状化、地盤沈下が発生したほか、津波による災害や火災が発生し、日本国内の死傷者数は、死者14,300人、行方不明者11,999人(4月24日現在警視庁発表)にもものぼっております。特に福島原子力発電所の放射能漏れにより、多くの方がいまだ避難所生活を余儀なくされる状況となっております。

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、ご家族ならびにご関係者の皆様へ心から御見舞い申し上げます。

### 千代田支部長より 緊急輸送の取り組みについて

東京トラック協会千代田支部では、千代田区と「災害時における緊急輸送業務の協力に対する協定」を1983年に結んでおりますが、この度の東日本大震災に際し、いち早く千代田区の防災課と連携して、被災地への緊急物資の輸送に取り組みました。

震災から4月15日までに、4トン車×10両分の食品や衣料品など、生活必需品を輸送する事が出来ました。

特に震災直後は、支部の運送会社も燃料の確保が難しい等の局面もありましたが、「被災し厳しい環境の中を頑張っている東北の被災者の人々を応援したい。」という思いと、支部の方々の結束と協力のお陰で、岩手、宮城などの被災地をはじめ、被災地を受け入れている都内の施設にも救援物資の配送を実施することが出来ました。



また千代田区と姉妹都市になっている秋田県五城目町にも、先月26日に区の職員の方と一緒に、下着などの衣料品を4トン車×2両での輸送や、トルコから送られた毛布3,000枚を、成田空港から一時保管場所である千代田区役所への輸送も行いました。この様な木目の細かい活動が出来たのも、地元を根ざした当支部だからこそ自治体と連絡を密にした結果だと思えます。やはり緊急事態の局面では、地元を根ざした活動を行う事が重要だと考えています。今後も、区の被災地復興支援活動に積極的に協力していきたいと思えます。

(千代田支部 支部長 平岡祐介)

### 緊急物資輸送に関して

東京都トラック協会本部・支部では、東日本大震災発生後、東京都や地元自治体の要請を受け救援物資輸送を実施しました。岩手、宮城、福島各県をはじめ各地の被災者や被災地、都内の避難所へ食糧品、飲料水、毛布、医薬品、医療物資、日用品、防災用品、自転車等の輸送を行い、4月5日までに、東ト協本部から216台、支部からは14支部、80台が出動しました。

[千代田支部の緊急物資輸送 実施状況] 延4社 10台

日付	依頼元	発地名	着地名	品目	会員企業名
3月15日	東ト協本部	埼玉県戸田市	岩手県滝沢村	食品・衣料品	マルカン
3月24日	東ト協本部	京浜TT	千代田区役所	水	淡路運送
3月25日	丸紅テレコム	千代田区内	宮城県仙台	緊急物資	吉川運輸
3月25日	千代田区	区役所	練馬駐屯地	食品	ユニコム・淡路運送
3月26日	千代田区	区役所	岩手県大槌町	衣料品	ユニコム(2車両)
4月8日	社)におい・かおり 環境協会	都内	東北被災地全域	消臭剤	淡路運送
4月15日	千代田区	成田空港	千代田区役所	毛布3000枚	ユニコム・淡路運送

### 『自治体』支援『ルー』に千代田支部が協力

東京都内で、福島原子力発電所の放射能漏れに起因して3月22日、23日に金町浄水場で基準値を超す放射性ヨウ素を検出の発表がありました。千代田区では24日から4日間、乳児がいる家庭を対象に、500ミリリットルのペットボトル3本を各家庭に配布しました。



この状況を知った千代田区と姉妹都市関係にある、秋田県五城目町の渡辺彦兵衛町長は、飲料水のペットボトル500ミリリットル×14,400本と2リットル×3,000本を千代田区に届けて頂きました。

千代田区は、五城目町の友好都市で、この度津波で大きな被害に遭った岩手県大槌町に対して、五城目町を通じて必要な物資を調べて、ジャージ1,000組、肌着9,000組、靴下3,400足を支援物資として届けることとしました。この輸送には、千代田支部のユニコム様より、2車両が出動しました。

### 支部義援金の協力方法

この度の「東日本大震災」につきましては、TV等にて連日昼夜を問わず報道されておりますがその被害状況を目にするたびに実際現地にて被災された方々の心痛は計り知れないものと思えます。そこで、当支部と致しましても震災に見舞われた皆様の一日も早い復興、並びに一人でも多くの方が救われますことを祈り支援することで、義援金募集の実施を役員と同義により決定いたしました。支部にて募りました義援金は、本部を経由して被災地窓口へ送られます。

[義援金の協力方法]

- 義援金額は、1口 5,000円と定める。(任意協力)
- 第一次締め切り: 4月26日(以降も随時、受け付けをしております)

※義援金については、会員企業様で東北地方に営業所を開設し、被災された企業様や、既に別途、義援金を送られている企業様もありましたので、『任意協力』と致しました。

### 東日本大震災に伴う協会会員の被害状況 (平成23年4月11日現在)

東日本大震災に伴う、協会会員の被害状況は、平成23年4月11日現在347事業者より報告があり、被害のあった事業者は139事業者、40%でした。主な被害状況は、東北各県における事業所5会員で、15名の死亡・行方不明、車両流失、炎上等で140台が全損、建屋の損害が31事業所、液状化被害が16事業所、保管貨物、預かり商品の損傷が17事業所、物品・備品等の被害が4事業所となっております。

### 事故防止モデル支部 活動報告



2月18日、九段会館において、平成22年度第15回事故防止大会が開催されました。

「事故半減」更なる活動のブラッシュアップ(交差点事故の撲滅を目指して)をテーマに会員事業者1,145人が参加しました。当支部は、平成21・22年度モデル支部として活動状況を報告しました。

- ① 春秋の全国交通安全運動への参加
- ② 事故防止交通安全パレードへの参加
- ③ 定期健康診断を実施
- ④ 千代田区主催「交通安全のつどい」への協賛
- ⑤ 警視庁主催「セーフティドライバー・コンテスト」への参加
- ⑥ 運転者講習会の開催



交通安全パレードでは地域住民に事故防止や飲酒運転の撲滅を呼びかけ、スクエアストレート方式の交通安全教室では、「事故の怖さ」を実感してもらいました。ドライバーへの安全教育の新たな提案として、関東トラック協会の「首都高交通事故発生マップ」の新たな活用方法の提案を致しました。これは音声読み上げ機能を搭載した、タッチペンを利用するもので、事故多発地点における注意事項を音声で発信し、事故多発地点と注意事項を冊子による視覚と音声で強く印象づけることができるものです。

なお、活動報告の中で「サブライズイベント」として、「首都高交通事故発生音声マップ」を赤尾事故防止委員長から、神田警察署交通課の白浜邦夫課長に贈呈しました。

平岡支部長をはじめ、事務局・会員の皆様のご協力により、2年間のモデル支部活動を終える事が出来ました。ご支援、ご協力を頂きました皆様、ありがとうございました。

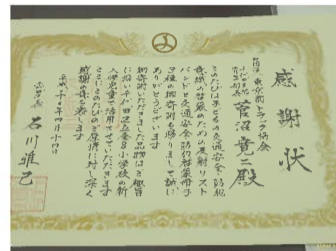


## 青年部小学校奇蹟活動のご報告

青年部では恒例の餅つき行事に代えてこのたび、千代田区立小学校8校の新入生徒向けに、腕巻き反射リストバンドと交通安全・防犯冊子3冊のセット450部を寄贈しました。《小職、中田副部長と平岡支部長、赤尾副支部長にて》4/14(木)千代田区役所の石川千代田区長、山崎教育長を訪問、納入しましたが、興味深いのは今回、旧赤坂プリンスに



受入れされた被災小学生29名が番町小学校に通学することとなり、急きょ彼らにもセットが配布



されることとなりました。はじめての試みでしたが、好評で迎えられたのが何よりでした。今後、年次継続できるように計画して参りたいと考えております。

(青年部長 菅沼 寛二)

## 平成22年度 第2回運転者講習会

3月8日、日本教育会館において、平成22年度の第2回運転者講習会を開催し、会員各社から約140名の方々にご参加を頂きました。

万世橋警察交通課長の須藤亨様のご講演と関東交通共済協同組合の小坂利廣様のご講演を頂きました。



開会挨拶: 赤尾事故防止委員長  
講演: 万世橋警察交通課長 須藤 亨 様  
講演: 関東交通共済協同組合 小坂 利廣 様  
閉会挨拶: 篠崎事故防止委員

## 電子化(メール通信)の推進について

すでにご承知の通り、千代田支部では「エコアクション21」に則り、電子媒体の利用によるペーパーレス化に取り組んでおります。

事務局からのご案内を会員各社様のご協力により、メール送信に切り替えております。新たにメールアドレスを取得された会員様で、メール配信が可能な会員様は、ご連絡を頂けますよう、お願い申し上げます。

## 女性部による花束贈呈

毎年、春と秋の「全国交通安全運動」がはじまる前に千代田区内所轄四所長へ



花束の贈呈を実施しております。本年は、5月2日に早川女性部部長はじめ平岡支部長、原島副支部長の3名にて万世橋、丸の内、麴町、神田と日頃の交通安全活動へのご協力に感謝する意味を含め、贈呈いたしました。

## 交通安全 もちつき大会

2月13日、岩本町ほほえみプラザに於いて、交通安全もちつき大会を開催しました。今年も、ユニコム様のご協力を頂き、前日から材料の買い出しや下ごしらえをお手伝い頂き車両の提供と機材の輸送もして頂きました。



当日は20名の交通少年団の参加と10名のご父兄の方々や三菱ふそう・東京いすゞの方々にもご協力を頂き、約60名が参加をした盛大なもちつき大会を実施できました。つきたてのお餅をお汁粉や大根おろしでお腹いっぱい頂きました。

## 新春講演会・賀詞交歓会

1月18日、如水会館「富士の間」に於いて、新春講演会・賀詞交歓会を開催しました。



今回は東ト協本部の「物流経営士」の講師でもある赤尾副支部長に「国際物流」についてのご講演を頂きました。その後の賀詞交歓会では、ご来賓として、東ト協本部の大高会長代行、浅井副会長、綿引専務理事、石川千代田区長、自民党 内田都連幹事長をはじめ、多数の方々にご出席を頂きました。

## 春の交通安全運動街頭活動(東ト協本部統一日)

5月11日から20日までの「春の全国交通安全運動」期間中の二日目(12日)が東ト協



本部による統一日となり、早朝より総務部 正岡部長お立ち会いの中、神保町交差点にて歩行者並びに自転車の誘導を実施しました。当支部は平岡支部長はじめ事故防止委員中心に7名、更に同時刻に専大前、九段下、西神田五差路の各交差点に於いても各1名にて同様の活動を行いました。神保町を含めた4交差点にての街頭活動は、ここ数年間春秋の2回毎年行っております。